

CSF（豚熱）発生前後の岐阜市金華山における
イノシシ個体群の動向をはじめて把握

（Journal of Veterinary Medical Science に 2020 年 5 月 19 日付で掲載）

国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 応用生物科学部の鈴木正嗣教授¹、浅野玄准教授¹、同附属野生動物管理学研究センターの池田敬特任准教授²、國永尚稔元研究員²、の研究グループは、「岐阜市金華山一帯のイノシシ被害対策協議会」の中で、金華山におけるイノシシ生態調査を実施しています。

その過程で、本研究グループは岐阜市と岐阜森林管理署と協力し、カメラトラップ調査（図1）で、CSF発生前後の岐阜市金華山におけるイノシシ個体群の動向をはじめて把握しました。また、CSF対策のために、さらなるイノシシの生態調査が必要であると提言しています。

本研究成果は、学術誌「Journal of Veterinary Medical Science」に 2020 年 5 月 19 日付で掲載されました。

※所属詳細

1：岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学課程、2：岐阜大学 応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター

【研究のポイント】

- ・カメラトラップ調査により、岐阜市でのCSF発生（2018年9月）の前から後で、岐阜市金華山のイノシシの相対的な個体数と年齢構成を比較しました。
- ・金華山のイノシシ個体群は、CSF発生前の2017年や2018年と比べ、発生後の2019年では明らかに個体数が減少していました（図2）。
- ・一方で、個体群の幼獣の割合は3年間で全く変化していませんでした。
- ・CSFウイルスはイノシシの個体数に一時的には影響を与えますが、幼獣は成長すれば繁殖に参加できるため、翌年の個体数にあまり影響を与えない可能性があります。
- ・以上のことから、イノシシがCSFウイルスに感染しても生存する可能性を念頭に置きつつ、イノシシの個体数管理に合わせて、豚農場や農地へのイノシシ対策を講じる必要があります。



図1：岐阜市金華山で自動撮影カメラにより撮影されたイノシシ

【研究の概要】

CSF（豚熱）は2018年に日本で再流行し、感染したイノシシがCSFウイルスの拡散に関わっている可能性が高いと考えられています。日本で再流行したCSFウイルスの豚への感染実験から、ウイルスは弱毒型であることが明らかになっていますが、CSFウイルスがイノシシ個体群に与える影響を調査した研究はありませんでした。適切なイノシシ個体群の管理戦略やCSFの対策を確立するためには、CSFウイルスがイノシシ個体群にどのくらい影響を与えるかを知る必要があります。

そこで本チームは、CSF感染の発生前（2017年8月）から発生後（2019年12月）にかけ、岐阜市金華山で自動撮影カメラ（図1）を利用してイノシシの1）相対的な個体数指標、2）幼獣の割合の2つを調査しました。発生前後でのこれら2つのデータの比較から、CSFウイルスがイノシシ個体群に与える影響を明らかにしました。

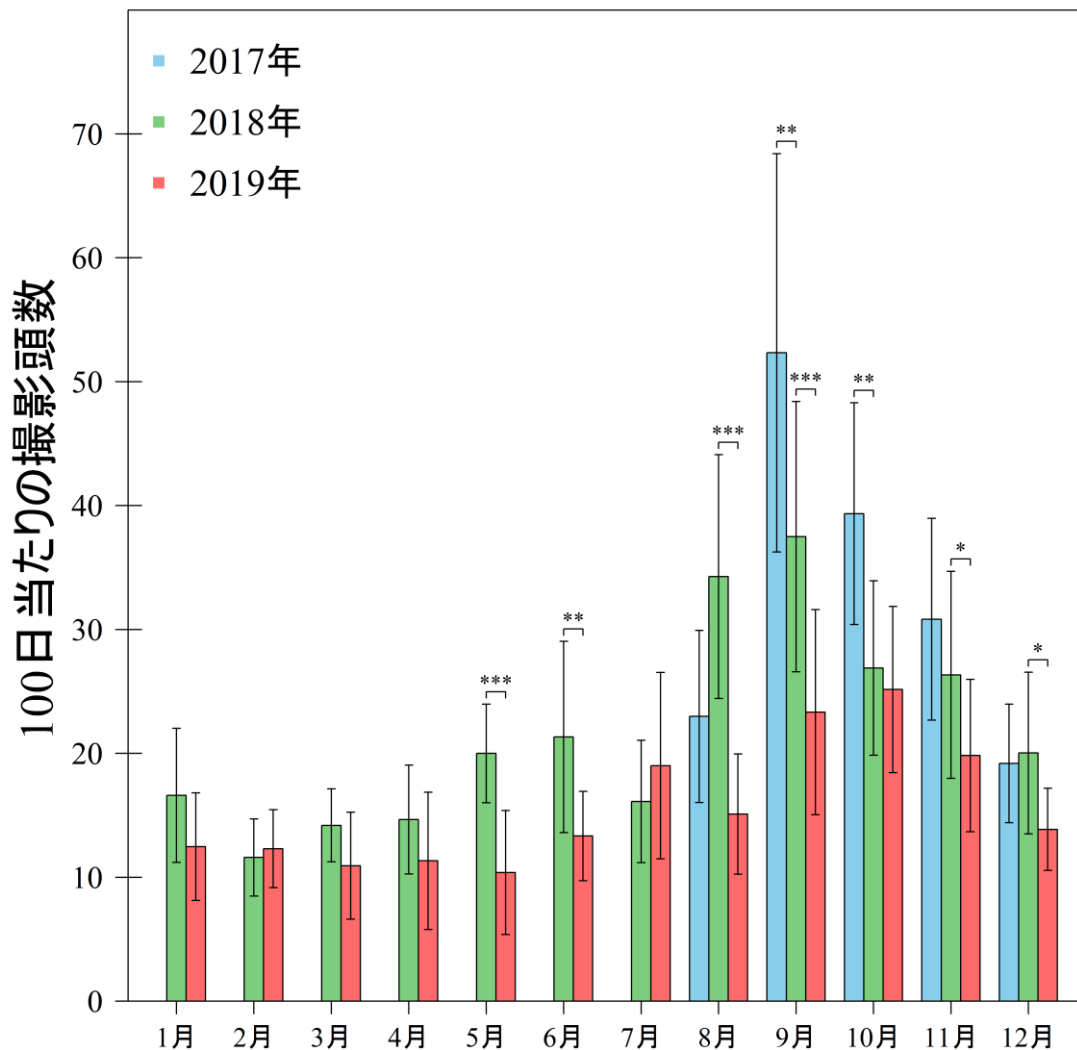


図2：2017年8月から2019年12月までの岐阜市金華山における100日当たりのイノシシの撮影頭数

その結果、イノシシの相対的な個体数指標は、2017年で最も高く、その後明らかな減少を示し、その季節性はCSFの発生に関係なく一致しており、8月から11月で高く、9月にピークに到達していました（図2）。一方で、幼獣の割合はCSFの発生に関係なく、変化がありませんでした。

以上のことから、1) CSFウイルスはイノシシ個体群に一時的な影響を与え、イノシシの個体数指標は減少したと考えられました。一方で、2) 幼獣の割合は変化していないことから、翌年の個体数にはあまり影響を与えない可能性があります。そのため、イノシシがCSFウイルスに感染しても生存する

可能性を念頭に置きつつ、イノシシの個体数管理に合わせて、豚農場や農地へのイノシシ対策を講じる必要があります。今後は本チームの成果に合わせて、その他の生態学的な情報（イノシシの餌資源や生息密度、行動圏など）を得つつ、フィールドデータの成果をCSF対策に適切に活用することが期待されます。

【研究論文】

論文タイトル：Monitoring relative abundance index and age ratios of wild boar (*Sus scrofa*) in small scale population in Gifu prefecture, Japan during classical swine fever outbreak.

論文著者：池田 敬、浅野 玄、國永尚稔、鈴木正嗣

掲載雑誌：Journal of Veterinary Medical Science

掲載日：2020年5月19日（早期公開）

【参考URL】

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvms/advpub/0/advpub_20-](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvms/advpub/0/advpub_20-0083/_article/-char/en)

[0083/_article/-char/en](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvms/advpub/0/advpub_20-0083/_article/-char/en)（Journal of Veterinary Medical Scienceの掲載ページ）

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学応用生物科学部

准教授 浅野 玄（あさの まこと）

TEL：058-293-2933（直通）

E-mail：asanojr@gifu-u.ac.jp